

科 目 名	農業と環境	単 位 数	2 単位		学 科 ・ 学 年	畜産総合 科	1 年
使用教科書	農業と環境		実教出版		副 教 材 等	プリント 視聴覚教材	
目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2) 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業と環境について基礎的な意識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。						
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。						
	①知識・技能		農業に関する様々な学習内容や、作業の目的及び理論的な裏付けが理解できたかどうか、要求された作業レベルに対して満足できる技術が身についている。				
	②思考力・判断力・表現力		農業に関する様々な学習内容や、実習時に指示された作業内容を、自分なりに考えて実行に移せるかどうか、また、課題を解決するために得た知識を活用し、解決しようとする力が身についている。				
	③主体的に学習に取り組む態度		ノートや実習日誌において、また、プロジェクト学習において、学習した単元に対し、さらに強い興味関心を持ち、調査しようとする姿勢がある。				
		評価方法\観点		①	②	③	
		学習状況の観察		○	◎	—	自己評価の実施
		ノート		—	○	◎	学習ノート
実習		◎	○	◎	実習		
ペーパーテスト		◎	—	○	定期考査		
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。							
履 修 上 意 の 注 意	◇授業は単元内容をよく理解し、毎時のノートを取り、集中して取り組みましょう。 ◇トウモロコシやハクサイの栽培では、たねまきから収穫までの栽培管理を通して、農業の楽しさや喜びを実感して下さい。 ◇実習は、班で活動します。自主性、協調性、責任感を身につけましょう。 ◇農業と環境は農場において実習も行います。天候によって作業内容が変化しますので、いつでも実習ができるように実習服の準備をしておいてください。						

学 期	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動（評 価 方 法）
1 学 期	圃場見学、オリエンテーション 第1章 農業と環境を学ぶ 1、農業学習とは何か ①生物を育てる学習 ②環境を調べる学習 ③農業と環境のかかわり ④農業と環境について学ぶ大切さ 2、農業と環境の学び方 ①農業学習の特徴 ②プロジェクト学習とその流れ ③報告書の作成と発表 ④農業学習におけるプロジェクト学習 3、学校農業クラブ活動 ①学校農業クラブ活動の目標 ②学校農業クラブの組織と活動 第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト 3、トウモロコシの栽培と利用 ①トウモロコシとは ②課題設定と栽培計画 ③栽培の実際、トウモロコシの利用	1 1 2 1 3 2 14	農業という営みがどのようなものか、切り離せない農業と環境の関係性とそれぞれがどのように影響しあうのか学びます。また、「持続可能な開発目標(SDGs)」に関して学びます。 プロジェクト学習の方法、学校農業クラブ活動の目的と内容を学びます。 トウモロコシの特性、性質、管理、栽培方法などを圃場で実際に栽培しながら学びます。	写真、実物、ICT、を使用しながら調べ学習を行い、身近な例と関連付けながら学びます。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【課題提出】 【実習】 実物を栽培しながら、疑問に思ったことに対して仮説を立て、グループで話し合いながら学びます。
2 学 期	7、ハクサイの栽培と利用 ①ハクサイとは ②課題設定と栽培計画 ③栽培の実際 ④ハクサイの利用	26	ハクサイ一生、おもな性質と形態について学習し、栽培計画と管理作業について考え、プロジェクト学習に向けて課題の設定、品種の選定、栽培計画を考えます。実際に栽培し、ハクサイの特性と生育過程に応じた管理作業を行い、体験的しながら、課題解決していくことを学びます。	地域や消費者にあった品種選びを考え、実物を栽培しながら、疑問に思ったことに対して仮説を立て、グループで話し合いながら学びます。最後に、発表をします。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【課題提出】 【実習】
3 学 期	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 4、これからの社会と農業・農村 ①農業とエネルギー ②これからの農業・農村 ③持続可能な農業の維持と発展 ④環境保全と農業 ⑤農業・農村をとりまく課題 ⑥都市と農村の共生と対流 ⑦私たちのなすべきこと 第3章 栽培と飼育の基礎 1、作物の特性と栽培のしくみ ①生活の中の作物 ②作物の自然分類 ③たねと発芽・たねまき ④成長のしくみと管理 ⑤作物の繁殖と育種 ⑥作付体系と作型	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2	担い手不足と高齢化などについて理解し、ロボット技術やICT、AIを活用した新たなスマート農業について学びます。 農作物栽培に関する基礎的な知識を広く学びます。たねまきから収穫までの農作物の成長やからだのしくみ、栽培管理について学びます。	スマート農業について、どのような栽培管理ができるか考え、疑問に思ったことに対して仮説を立て、グループで話し合いながら学びます。基礎的な知識を学びながら、農作物の種類に応じた、種まきや栽培方法を考えます。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【定期考査】 【課題提出】 【実習】
時間数計		70		

24

16. 66667

24

26

26

20

20